科目ナンバリング	U-LAS30 20024 LJ13						
授業科目名<英訳>	情報と知財入門 Introduction to Information and Intellectual Property			担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 教授 田島 敬史 非常勤講師 谷川 英和		
群	情報学科目群	分野(分類)	(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

情報に関わる著作権、特許、知財管理、個人情報保護に関する知識を教授する。

[到達目標]

情報に関わる著作権、特許、知財管理、個人情報保護に関する基礎的な知識を十分に取得できていることを到達目標とする。

[授業計画と内容]

以下の内容の講述を行うとともに、適宜、机上演習やグループ討論を行う。また、一部の回では関連分野のゲストスピーカーを招聘して討論を行う。

[01] 講義概要紹介（田島）
[02] 特許権（1）知的財産権の基礎、特許出願の流れ、特許要件（谷川、田島）
[03] 特許権（2）ソフトウェア関連発明、発明の取り扱い、特許出願の態様（谷川、田島）
[04] 特許権（3）特許に関する手続きの流れ（谷川、田島）
[05] 特許権（4）特許文書の読み方、よい発明の構築方法（谷川、田島）
[06] 特許権（5）特許工学、特許調査（谷川、田島）
[07] 情報技術と商標（商標登録の仕組、キーワード広告と商標権、商標戦略等）（谷川、田島）
[08] 特許権・商標権とライセンス交渉（谷川、田島）
[09] デジタルコンテンツ著作権（1）著作権法の概要、著作物性（田島）
[10] デジタルコンテンツ著作権（2）著作権法上の権利の種類と効力（田島）
[11] デジタルコンテンツ著作権（3）著作物の利用機器・サービスの提供者の責任（田島）
[12] デジタルコンテンツ著作権（4）侵害コンテンツへの誘導者の責任（田島）
[13] 人工知能（AI）と知的財産（田島）
[14] 個人情報保護（田島）

全授業回数はフィードバック1回を含め15回である。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

情報に関わる著作権・特許、知財管理、個人情報保護に関する知識を十分に取得できることを到達目標とする。
期末試験（48%），および，レポート課題と講義中に複数回実施する小テスト（52%）で成績評価を行う。

情報と知財入門(2)へ続く↓↓↓

情報と知財入門(2)

[教科書]

教材は、講義スライドのコピーおよび関連文献のプリント（適宜配布）を用いる。

[参考書等]

（参考書）

谷川英和，河本欣士『特許工学入門』（中央経済社）ISBN:978-4502909603
平嶋竜太ほか『入門知的財産法［第3版］』（有斐閣）ISBN:978-4641243606

（関連ＵＲＬ）

https://www.j-platpat.inpit.go.jp/(J-PlatPat **特許情報プラットフォーム**)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/index.html(**著作権（文化庁ウェブページ）**)
https://www.ppc.go.jp/(**個人情報保護委員会**)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時に配布する授業資料を用いて予習復習を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーはメールによる事前予約のこと。メールアドレスは以下の通り（「@」を「@」に置き換えること）：
田島：tajima@i.kyoto-u.ac.jp
谷川：htanigawa@ird-pat.com

[実務経験のある教員による授業]

①分類
実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

②当該授業科目に関連した実務経験の内容
担当教員の一人である谷川英和非常勤講師は現在も弁理士事務所所長として特許申請等の実務に携わっている.

③実務経験を活かした実践的な授業の内容

[主要授業科目（学部・学科名）]